



OFFICIAL NEWS LETTER

30 Apr. 2014 Vol.216

# J.LEAGUE™ NEWS



© J.LEAGUE PHOTOS

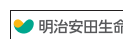
1993年のJリーグ開幕を知る三浦選手(左)と貴重な意見交換の機会を持った村井チェアマン

## 村井Jリーグチェアマン Jクラブ訪問

横浜FCでは三浦知良選手とも意見交換。Jリーグの魅力発信にあらためて意欲を示す

Jリーグの村井 満チェアマンはことし1月31日の就任以来、リーグ戦やJクラブ訪問など全国へ精力的に足を運んでいる。3月28日には神奈川県横浜市にあるJ2リーグの横浜FCを訪れ、トレーニングなどを視察。クラブ関係者などと交流を図り、「カズ」の愛称で親しまれる三浦知良選手とも意見交換を行った。「サッカーのためにとか、体を張ってコミュニケーションする姿は、本当にプロだなと思う。すごく刺激を受けた」と、47歳となった現在も第一線で活躍している大ベテランと語り合った感想を述べた。村井チェアマンは今後も引き続き、各クラブを訪問する予定となっている。(2ページに関連記事)

### J.LEAGUE™ TOP PARTNERS







# 村井 満

Jリーグチェアマン

「全力で、真面目にやるのが  
日本のブランド、日本サッカー」

# 三浦知良

選手(横浜FC)

「日本が先頭に立って模範となる  
リーグをつくっていけば」

© J.LEAGUE PHOTOS

和やかに語り合った村井チェアマン(左)と三浦選手。Jリーグ、日本サッカーを魅力あるものにしたいという気持ちは一緒だ

横浜FCのクラブハウスを訪れたJリーグの村井 満チェアマンはチームのトレーニング開始前、選手たちに「サッカーの楽しさとか喜びをもう一度、自分の中で仕入れたくて来ました」とあいさつ。練習終了後、三浦知良選手と意見交換を行った。



横浜FCの練習を「明るい雰囲気だった」とチェアマン

**村井** 「チェアマンに着任してから短い間に、サポーターとクラブ、サポーターと選手などの距離を考えさせられる出来事が起きました。カズさんは、そういったJリーグの中での関係をずっと見てきたので、何かヒントになるようなことが聞けたらと思っています」

**三浦** 「クラブはサポーターが大事な存在である」と言い、サポーターもクラブにもっと近づいて支えたいという気持ちは強いと思いますが、その境界線は難しいですね。大切なのは、お互いが尊重し合うことです。どっちが、ということではなく、お互いがなければ成立しないもの。サポーターがいなければサッカーは絶対に盛り上がらないし、選手がいなければ試合ができません。今はFIFA(国際サッカー連盟)などが、暴力や人種差別に対して厳しく対処しています。そんな中で日本が先頭に立って模範となるリーグをつくっていけばいいし、Jリーグは世界的にも評価されています。本当にオーガナイズされているし、選手も安心してプレーできる環境がある。子どもから大人、女性も見に来ることができる素晴らしいリーグになっていると思いますから」

**村井** 「Jリーグが開幕してから20年以上が経過し、その間にはほんの一握りのサポーターが問題を起こすケースもありましたが、もう一度、原点に戻って、家族みんなで楽しく見ようとか、女性もお年寄りも外国人も、いろいろな人がいていいじゃない、というスタジアムにもう一回したいなと思っています」

**三浦** 「今回、無観客試合というマイナス面はあったかもしれませんが、それを経験したことを無駄にはしてはいけません。選手も、サポーターの応援でパワーが出るというのを感じたと思います。拍手もため息もないところでやると、『これはいいプレーだったのか。今までは反応があったのに』と考えてしまいます。そういう反応によって選手が勢いつくというのは、本当にありますからね」

**村井** 「こういうことは、本当に最後にしたい。実は私自身、かつてはサポーターの側の存在でした。カズさんの日本代表の試合や、Jリーグも開幕の時から見ていて、そのころはサッカーをする喜び、プレーできる喜びがピッチにあふれていたように感じた。サポーターもサッカーを見ることができ喜び、うれしさに満ちていたように思います。今、原点に戻ってもう一度、そういった喜びを伝えたいですね。私の立場で何ができるかわからないけど、『サッカーって面白いよね』ということを伝えたいと考えていた時に、こうしてカズさんに会う機会を持てました」

**三浦** 「チェアマンが来られるということで、選手たちのモチベーションも違いました。J2のクラブにもわざわざ足を運んで、練習も見てもらえるというのは、選手にとって本当にうれしいですね。選手はピッチで全力を尽くすことが一番。練習から全力を尽くして、試合で力を出し切ります」

**村井** 「就任して間もなく、2014 Jリーグ キックオフカンファレンスの前に行われた監督会議で、試合終了のホイッスルが鳴るまで全力で

プレーすること、リスタートを早く、選手交代を迅速に、という三つの約束をお願いしました。その席で、カズさんの映像を使わせてもらい、参考とさせてもらいました。横浜FCが3-1で勝っている場面で、交代するカズさんがピッチを走って出ていくシーンです」

**三浦** 「ありがたいことです。もう時間稼ぎはできなくなるなあ(笑)。全力でやりますよ。全力でやっても、八百長(という言葉)とか出されると、『どうなの』という雰囲気になってしまう。事実がなくても」(注)

**村井** 「今回は徹底的に『日本では八百長はできない』ということを世間に発信するために、問題はなかったとあえて発表しました。ただ、このようなことは『二度とうわさにも立たないぞ』のようにしたい」

**三浦** 「ブラジルの選手がよく言うんです。『日本の選手はお金のためだけにプレーしていない。収入が減っても、自分にとっていいクラブに行きたいという。ブラジルでは常に収入が上がる場所に行く。だから、ついお金につられてしまう』と。もちろん、生活は大事ですが、日本人選手にはお金だけでは動かないというメンタルの強さがあると思います。外国籍の選手もそういうところを発信してくれています」

**村井** 「全力で、真面目にやるのが日本のブランド、日本サッカーだということを、これからもアピールしていきたいですね」



チェアマンは選手たちと昼食も共にした

(注)日本サッカー協会とJリーグは3月10日にFIFA EWS社より、Jリーグの試合に対する賭け方に「小さな異常値」が見られたとされるスポーツ賭博市場動向の監視レポートを受信。Jリーグは迅速かつ厳正な調査を行い、不正への関与なしと判断した。その際、一部報道で「八百長」の言葉も使われた。



# 『3つのフェアプレー宣言』への合意と推進

© J.LEAGUE PHOTOS



会見でフェアプレー推進への決意を表明した村井チェアマン

JリーグとJクラブは「ピッチ上のフェアプレー」、「ファイナンシャル・フェアプレー」、「ソーシャル・フェアプレー」という『3つのフェアプレー』が、JリーグおよびJクラブを発展させる基盤となる重要な概念であることに合意し、これを鋭意推進する。4月22日に行われたJリーグ理事会后に記者会見したJリーグの村井 満チェアマンが、自ら決意表明を述べた。

アマンが、自ら決意表明を述べた。

このうち「ソーシャル・フェアプレー」については、『3つのフェアプレー』の中で最も根底にあり、Jリーグに関わる全ての人々が常に意識し取り組むべき指針。Jリーグは本宣言に関わる従来の取り組みに加え、特に「ソーシャル・フェアプレー」の浸透のために、研修制度の充実や組織体制の見直しなど、今後の具体的な取り組みを強化する。さらに、「差別根絶」に向けて、あらためて村井チェアマンがJリーグの強い意志を広く社会に対して表明するとともに、ファン・サポーターにもメッセージを発信した。今後、日本サッカー協会(JFA)とも協調して、その合意の輪を広げていく。

Jリーグは『3つのフェアプレー宣言』のもと、さらに魅力あるフットボールの実現を目指す。

## 1. 3つのフェアプレー宣言

私たちJリーグとJクラブは、「ピッチ上のフェアプレー」、「ファイナンシャル・フェアプレー」、「ソーシャル・フェアプレー」という『3つのフェアプレー』が、JリーグおよびJクラブを発展させる基盤となる重要な概念であることに合意し、これを鋭意推進する。

### ●ピッチ上のフェアプレー

- ・ルールを守る
- ・レフェリーや相手に敬意を払う

### ●ファイナンシャル・フェアプレー

- ・「クラブライセンス制度」によるクラブ経営健全化(2012年～)

### ●ソーシャル・フェアプレー

- ・反社会的勢力との関係遮断。  
「暴力団等排除宣言」(2012年2月～)
- ・差別の根絶「チェアマンメッセージ」
- ・Jリーグとして社会的責任を果たす(コンプライアンスの強化)

## 2. ソーシャル・フェアプレーの浸透に向けた具体的取り組み

ソーシャル・フェアプレーの浸透には、「全員で」「定期的に」「繰り返し」身につけることが重要。Jリーグが社会の信頼を維持するために、できる取り組みから早急に着手する。

### 【Jリーグ】

- (1) ソーシャル・フェアプレーの徹底に関する研修システムの構築
  - ① Jリーグ全体で統一感があり、持続性ある仕組みをつくる(研修義務化。クラブライセンス交付規則改定)
  - ② 研修教材として頒布できるツールの開発(現状のツールを再編)
- (2) 研修の早期実施(可能なものから即座に実行する)
- (3) ソーシャル・フェアプレーを侵害するような事案(いわゆる有事)に対応する組織体制のメンテナンスと再編
- (4) 上記を基軸として、「コンプライアンス規程」等の規程関係のメンテナンスと再編

### 【Jクラブ】

- (1) 「コンプライアンス・オフィサー」の選任(従来のコンプライアンス担当を発展的に改める)
- (2) クラブに所属する全員を対象に、ソーシャル・フェアプレーの徹底に関する研修受講開始
- (3) いわゆる有事が起きた際の対応組織をクラブ内に設ける

### 【今後の具体的活動案】

- (1) 「八百長対策セミナー」の再実施(4月18日・選手契約担当者会議)(実施済み)
  - セミナーの内容は出席者から各クラブにフィードバック
  - 内部通報窓口の普及、浸透も図る
- (2) 「不当要求防止責任者講習」
  - 反社会的勢力からの不当な要求、圧力に対する責任者を警察が認定する制度
  - 各都道府県警察で講習を実施している。クラブと地元警察が連携
- (3) 「人権研修」
  - 各都道府県の法務局が主催する、人権に関する研修
- (4) コンプライアンス研修
  - Jリーグが提携するコンサルタントに依頼予定

## 村井 満チェアマンのメッセージ

### 『差別根絶にむけて ～ソーシャル・フェアプレー～』

私たちJリーグは、すべての差別を根絶します

1. 私たちは、フェアでオープン、安心かつ安全で誰もが楽しめるスタジアムづくりを推進します。
2. 私たちは、あらゆるコンプライアンスリスクに対する予防策を講じ、対応力を高めるための対策を継続的に実施します。
3. すべての取り組みは、Jリーグを愛するファン・サポーターのみならずとともに実践していきます。

※すべての事項は、Jリーグ規約・規程に基づき、実施してまいります。

### 『Jリーグを愛するファン・サポーターのみならず』

みなさまには、スタジアムの内外において、日頃よりJクラブや選手たちの応援・サポートを通じてJリーグを盛り上げていただき誠にありがとうございます。

私たちは、安心かつ安全で快適、そして年齢、性別、国籍などの区別なく誰もが夢を見て、楽しめるJリーグでありたいと考えています。このような考えに基づき、Jリーグのスタジアム内外における掲示物等のメッセージは、それに触れる方々が共感し、感動を共有できるものにしましょう。

Jリーグを、「世界で一番フェアでオープンなリーグ」にしていましょ。

※詳しくは、Jリーグ公式ホームページ「試合実施時における安全理念」および「観戦マナー」をご覧ください。

## 『試合運営におけるセキュリティ関連諸規程』の改定

JリーグはJクラブと共に『試合実施時におけるセキュリティは、究極の顧客サービスである』というスローガンのもと、「試合実施時におけるJリーグ安全理念」を掲げ、世界に誇れる安全で快適なスタジアム環境を確立できるよう努めている。また、各クラブの運営担当や警備会社などの有識者によって研

究会を定期的に行い、安全で快適なスタジアム環境の構築を図っている。

このたび、さらなる安全で快適なスタジアム環境の構築に向けて検討した結果、差別的行為への対応について、諸規程を一部改定(太字下線)し、広く周知することとなった(追加・変更箇所のみ抜粋)。

### ■Jリーグ統一禁止事項

- ・花火、爆竹、発煙筒、ガスホーンの持ち込み禁止
- ・ビン、カン類の持ち込み禁止
- ・フィールドヘモノの投げ込み禁止
- ・フィールドへの飛び降り禁止
- ・暴力行為の禁止

#### 【追加】

- ・差別的、侮辱的もしくは公序良俗に反する言動の禁止  
※当該言動が上記に該当する場合は主管クラブが判断することとします。

### ■Jリーグ共通観戦マナー&ルール

守ってほしいこと	くわしい内容
応援マナー	【変更前】 ■人を傷つけることを目的とした横断幕や垂れ幕を掲げることは、おやめください。
	↓ 【変更後】 ■差別的、侮辱的もしくは公序良俗に反する発言や行為は、絶対におやめください。

### ■試合運営管理規程

JリーグならびにJリーグ51クラブでは、安全で快適なスタジアムでの試合観戦を提供するため、試合運営管理規程に沿って試合運営をおこなっております。

観戦にあたっては、**フェアプレー精神に則った応援をお願いするとともに、試合運営管理規程を遵守くださいますようお願いいたします。**

なお、当該行為が試合運営管理規程に抵触するかどうかについては、Jリーグまたは各クラブが最終的に判断させていただきます。

また、各クラブによって主管試合の試合運営管理規程(持ち込み禁止物・横断幕掲出ルール)が異なりますので、ご来場の際は各クラブのホームページでご確認ください。

#### 第4条(持ち込み禁止物)

施設に入場しようとし、または入場した者は、運営・安全責任者が特に必要と認めた場合を除き、次の各号に掲げる物を施設に持ち込むことはできません。

3. 以下に該当すると主催者もしくは主管者が判断した**掲示板、立て看板、横断幕、のぼり、旗、プラカード、ゼッケン、文書、図画、印刷物等**

- ① 政治的、思想的、宗教的主義、主張または観念を表示し、または連想させるもの
- ② 差別的、侮辱的な内容、表現を含むもの
- ③ 選手やチームを応援または鼓舞する目的が認められないもの
- ④ 大会の運営に支障を及ぼすおそれがあるもの

#### 第5条(禁止行為)

施設に入場しようとし、または入場した者は、運営・安全責任者が特に必要と認めた場合を除き、いかなる施設においても次の各号に掲げる行為をしてはならない。

13. 人種、肌の色、性別、言語、宗教、政治または出自等に関する差別的あるいは侮辱的な発言または行為をすること。

14. 上記各号のほか、公序良俗に反する発言または行為をすること。

#### 第9条(入場拒否、退場命令、物の没収)

2. 主催者または主管者は、前項に該当する者に対し、主催者または主管者が被った損害(当該者の違反行為を理由としてクラブに科された制裁に起因してクラブが被った一切の損害を含む。)の賠償を請求することができる。

## 「アイデムしごと探検隊」に協力

Jリーグトップパートナーの株式会社アイデムが開催し、Jリーグが2007年から協力を続けている「アイデムしごと探検隊」が、3月27日に東京、4月4日に大阪で行われた。Jリーグは両日、セレッソ大阪は大阪開催に協力した。参加した小学生たちは、Jリーグやサッカーに関連した仕事に携わる人から話を聞き、各所を訪問、見学して仕事への理解を深めた。東京ではJリーグOB選手の北澤 豪氏、大阪では同じく森島寛晃氏(C大阪アンバサダー)が案内役となった。当日の様子は、アイデム発行の求人フリーペーパー「ジョブアイデム」に掲載予定(東京は5月5日発行号、大阪は5月12日発行号)。



©J.LEAGUE PHOTOS  
JリーグエンタープライズでJクラブや日本代表の関連グッズについて話を聞く子どもたち(東京)



©J.LEAGUE PHOTOS  
プロサッカー選手の仕事について話し、子どもたちの質問にも答えた柿谷曜一朗(中央)と山口 蛍(右)の両選手。左は森島アンバサダー(大阪)

## 2014 Jリーグ 3月度 月間ベストゴール/コカ・コーラ Jリーグ月間MVP 発表

各月のリーグ戦で最も優れたゴールを表彰する「月間ベストゴール」に、FW佐藤寿人(サンフレッチェ広島)がJ1第2節(3月8日)の川崎フロンターレ戦で57分に決めた得点が選ばれた。このゴールは、年間で最も優れたゴールに与えられる「最優秀ゴール賞」のノミネートゴールとなり、「最優秀ゴール賞」はシーズン終了後に行われるJリーグアウォーズで表彰される。

各月のリーグ戦(J1、J2)において最も活躍した選手を表彰する「コカ・コーラ Jリーグ月間MVP」の3月度受賞選手には、J1はDF塩谷司(広島)、J2はMF永木亮太(湘南ベルマーレ)が決まった。両選手にはそれぞれ、30万円、20万円の賞金が授与される。

受賞発表の4月22日にはJFAハウスで、選考委員の一人である宮本恒靖 Jリーグ特任理事が映像を交えながら解説を加えた。



©J.LEAGUE PHOTOS  
宮本氏は佐藤の得点を「ストライカーらしいゴール」と評した



©J.LEAGUE PHOTOS



映像を見ながら解説する宮本氏

チームへの貢献度が高い塩谷は「自信を持ってプレーしている」と宮本氏

### 村井 満 Jリーグチェアマン

## 選手会代表と意見交換 中四国Jクラブ情報懇談会出席

Jリーグの村井 満チェアマンはことし1月の就任以来、Jリーグ執務や試合視察、クラブ訪問など、精力的な活動を続けている。4月7日には一般社団法人 日本プロサッカー選手会の佐藤寿人会長(サンフレッチェ広島)らがJリーグを訪れ、意見交換の機会を持った。選手のセカンドキャリア、サポーターとの関係、フェアプレーなどについて話し合い、村井チェアマンは「これからもどんどん意見交換していきたい」と、お互いの意志疎通に積極的な姿勢を見せた。

また、同9日は中四国のJクラブとの情報懇談会に出席するため、愛媛県松山市を訪問。各クラブの社長と意見を交わした他、中村時広同県知事や野志克仁同市長のもとにも足を運んだ。



村井チェアマン(左から4人目)のもとを訪問した佐藤(右から4人目)ら選手会の代表



## 「2014 Jリーグ U-16 チャレンジリーグ」を開催

Jリーグは3月23日から4月6日に、茨城県、静岡県、大阪府の3会場で「2014 Jリーグ U-16 チャレンジリーグ」を開催した。Jクラブに所属する16歳以下の選手が対象となり、今回はJ1・J2の全40クラブに加え、J3の6クラブも参加した。今回から試合は全て35分ハーフに統一され、グループ内総当たりのリーグ戦後に順位決定戦などの形式で実施。MVPの選考、表彰も行われた。本大会は、トップレベルの選手育成に重要な年代へ試合出場の機会を提供し、個の育成を行うとともに、リーグ戦化に向けた検討の機会ともなる。

### 【2014 Jリーグ U-16 チャレンジリーグ成績】

〈グループ1〉時之栖スポーツセンター(静岡) 3月23~25日

1位: 熊本、2位: 湘南、3位: 愛媛、4位: 横浜FC、5位: 富山、6位: 山形、7位: 岡山、8位: YS横浜、9位: 川崎F、10位: 相模原 [MVP] 大友龍聖(熊本)

〈グループ2〉ト伝の郷運動公園多目的球技場(茨城) 3月24~26日

1位: 大宮、2位: 鹿島、3位: 札幌、4位: 水戸、5位: 徳島、6位: 群馬 [MVP] 山田 陸(大宮)

〈グループ3〉時之栖スポーツセンター(静岡) 3月30~4月1日

・Aグループ 1位: 横浜FM、2位: 清水、3位: 松本、4位: 甲府、5位: 長崎、6位: 浦和  
・Bグループ 1位: 名古屋、2位: 磐田、3位: F東京、4位: 新潟、5位: 鳥栖、6位: 町田 [MVP] 北野晴矢(名古屋)

〈グループ4〉J-GREEN堺(大阪) 4月1~3日

1位: G大阪、2位: 福岡、3位: 東京V、4位: 京都、5位: 大分、6位: 神戸、7位: 広島、8位: 千葉、9位: 柏、10位: 長野 [MVP] 松本歩夢(G大阪)

〈グループ5〉J-GREEN堺(大阪) 4月4~6日

1位: 仙台、2位: C大阪、3位: 鳥取、4位: 北九州、5位: 岐阜、6位: 栃木、7位: 秋田、8位: 讃岐 [MVP] 松岡大智(C大阪)



## 実行委員選任

Jリーグは4月22日に開催した理事会で、下記クラブの実行委員変更を承認した。

実行委員			敬称略
クラブ名	変更前	変更後	
ベガルタ仙台	白幡 洋一 株式会社ベガルタ仙台 代表取締役社長	西川 善久(にしかわ よしひさ) 株式会社ベガルタ仙台 代表取締役社長 ※4月25日付で同職に就任	
FC岐阜	薫田 大二郎 株式会社岐阜フットボールクラブ 代表取締役社長	恩田 聖敬(おんだ さとし) 株式会社岐阜フットボールクラブ 代表取締役社長 ※4月24日付で同職に就任	
V・ファーレン長崎	宮田 伴之 株式会社V・ファーレン長崎 代表取締役社長	岩本 文昭(いわもと ふみあき) 株式会社V・ファーレン長崎 代表取締役専務	

## 参与選任

Jリーグは4月22日に開催した理事会で、2014年4月25日付でベガルタ仙台の実行委員を退任する白幡洋一氏を参与に選任した。

参 与		敬称略
氏名	実行委員在任期間	
白幡 洋一	2011年2月～14年4月(在任期間3年2カ月)	

## 宮城県総合運動公園宮城スタジアム 名称変更

ベガルタ仙台がホームスタジアムとして使用している「宮城県総合運動公園宮城スタジアム」は、宮城県と全国農業協同組合連合会 宮城県本部との施設命名権契約締結に伴い、下記のとおり名称が変更となった。

名称変更				
	日本語表記	英字表記	略称(日本語)	略称(英字)
現在	宮城スタジアム	Miyagi Stadium	宮城ス	Miyagi.S
変更後	ひとめぼれスタジアム宮城	Hitomebore Stadium MIYAGI	ひとめS	Hitomebore S

■期間：2014年4月1日～17年3月31日(3年間)  
■備考：2014シーズン公式試合の使用予定はなし。

## Jリーグオフィシャル応援CD『NEXT STAGE ～ROAD TO 100～』発売

Jリーグでは、過去にさまざまな形で「サッカー」とタイアップした楽曲やアーティストを中心に収録したJリーグオフィシャル応援CD『NEXT STAGE ～ROAD TO 100～』(発売・販売元：エイベックス・マーケティング株式会社)を制作、5月14日(水)に発売する(価格:2000円、税別)。2014 Jリーグオフィシャル応援歌の「Forever Young」(CREAM)、「勝負曲-J.LEAGUE Official ver.-」(GAKU-MC)などが収録されている。



## キャリアデザイン支援プログラム 2014年度「Jリーグ版『よのなか』科」ファシリテーター養成講座 開講

Jリーグは2010年度より、Jリーグの人材育成活動における選手教育の取り組みとして、文部科学省委託事業の「Jリーグ版『よのなか』科」(正式名称：Jリーグをテーマに、競技者としてのキャリアを考える「キャリア・デザイン・サポートプログラム」)を実施している。今年度も6～12月(予定)にJFAハウスや対象クラブのクラブハウスでプログラムのファシリテーター(進行役)養成を目的とした講座を開講し、各クラブでの自主的な取り組みができる体制構築へ向けての支援を行うと同時に、アカデミーコーチに向けての研修の実施展開を図る。

## 第1回 Next generation マッチ 千葉2014を後援

Jリーグは4月22日に開催した理事会で、一般社団法人 松田直樹メモリアルが主催する「第1回 Next generation マッチ」を後援することを決定した。

試合は2014年7月6日(日)、フクダ電子アリーナで開催。ジェフユナイテッドのOBと千葉県出身の元Jリーグ選手を中心としたCHIBA DREAMSと、故松田直樹氏にゆかりのある元日本代表を中心としたNAOKI FRIENDSが対戦する。また、前座試合や、AED講習会の実施も予定されている。

## 京都サンガF.C. ホームタウン追加

Jリーグは4月22日に開催した理事会で、京都サンガF.C.がホームタウンを追加し、従来の京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、京田辺市、木津川市に加えて、亀岡市を2014年4月22日より新たにホームタウンとすることを承認した。

## 第64回“社会を明るくする運動”に協力

Jリーグは4月22日に開催した理事会で、法務省が主唱する第64回“社会を明るくする運動”に協力することを決定した。2014年7月1日(火)～31日(木)の強調月間に、公式試合開催時の告知活動などで協力する。

## (独)日本スポーツ振興センター『SAYONARA国立競技場プロジェクト』が2014 J1・J2リーグ戦を後援

Jリーグは4月22日に開催した理事会で、独立行政法人日本スポーツ振興センターの『SAYONARA国立競技場プロジェクト』に賛同し、国立競技場にて開催される下記4試合で、同センターの後援が決定した。同プロジェクトは、同センターが、半世紀の間、スポーツの聖地として歩んできた現在の国立競技場の歴史に敬意を表すことを目的とし、実施している。下記4試合では、来場者全員に『SAYONARA国立競技場ハンドタオル』のプレゼントなどを実施する。

### SAYONARA国立競技場プロジェクト 対象試合

2014年4月13日(日) ※実施済み J2 第7節 東京V vs 岡山	2014年5月3日(土・祝) J2 第11節 東京V vs 岐阜
2014年4月29日(火・祝) ※実施済み J1 第10節 F 東京 vs 名古屋	2014年5月6日(火・休) J1 第12節 甲府 vs 浦和

## AFCチャンピオンズリーグ2014

## 日本勢は3チームがグループステージ突破



AFCチャンピオンズリーグ(ACL)2014は、4月22、23日にグループステージが終了。日本勢では川崎フロンターレ、セレッソ大阪、サンフレッチェ広島がそれぞれのグループで2位となり、16強入りを果たした。ノックアウトステージの幕開けとなるラウンド16は、第1戦が5月6日(火・休)、7日(水)、第2戦が同13日(火)、14日(水)に行われる。

グループステージ最終戦で、3チームはいずれも勝利で突破を決めた。グループHの川崎Fは蔚山現代(韓国)に3-1と快勝。同EのC大阪は山東魯能(中国)に2-1の逆転勝ち。同Fの広島もセントラルコースト・マリナーズ(オーストラリア)に1-0で競り勝った。横浜F・マリノスは昨年のACL王者、広州恒大(中国)に1-2の惜敗で敗退した。ラウンド16の組み合わせは、川崎F vs FCソウル(韓国)、C大阪 vs 広州恒大、広島 vs ウェスタン・シドニー・ワンダラーズ(オーストラリア)。



蔚山現代戦で先制点を挙げた川崎Fの小林 悠



# スタジアムの在り方は新たなステージへ ～地域の核となるスタジアム～

スタジアムは、競技場からスポーツエンターテインメントを提供する空間、クラブ収益を生む資産へと、時代を追うごとに役割を増やしている。さらに、スタジアムは街の集客装置、「街の機能」を持つ施設として進化し、欧州では地域の再開発の核となるスタジアムも現れている。Jリーグが2008年に「欧州におけるサッカースタジアムの事業構造調査」を行ってから6年がたち、国内でもいくつかの地域ではスタジアムの新設や大規模改修が具体化されるなど、理想のサッカースタジアムの整備に向けた動きが活発になっている。クラブとスタジアムが地域に果たしている役割を、近年新設、改修されたスタジアムを中心に視察した。



四つのスタンド全て、1層目と2層目の間にビジネスラウンジを備えている(エスパニョール/スペイン)

## はじめに

2008年にJリーグが「欧州におけるサッカースタジアムの事業構造調査」を行ってから6年がたち、国内でも理想のサッカースタジアムを整備しようという動きが各地で沸き起こっている。10年10月の「スタジアムプロジェクト欧州視察」に参加した栃木SC、川崎フロンターレ、ガンバ大阪、ギラヴァンツ北九州のホームスタジアムでは、いずれも新設や大規模改修が具体化している。

ことし2月、新たに構想を抱くクラブと共に、Jリーグとして3度目の欧州視察を実施した。目指す姿を共有し、ホームスタジアムの将来計画に反映してもらうことを目的とした「Jリーグ欧州スタジアム視察2014」。

フルカバーの屋根をはじめとする快適な観戦環境は当たり前。それぞれのスタジアムは、①アクセスの良い立地を生かした多機能複合型、②バリエーション豊かなラウンジを備え、試合日以外も有効活用している収益性の高い365日稼働型、③クラブの伝統を受け継ぐミュージアム・スタジアム、④ホームタウンの人口が少なくても、行政と連携して集客に取り組み、シティーセールスの一助を担う小さな町の看板スタジアム、といった特性を輝かせていた。

## アクセスの良い立地を生かした多機能複合型スタジアム

ツアーの最初はスペイン。RCDエスパニョールのスタジアムを訪問した。FCバルセロナという巨大クラブがある地域でクラブが注力したスタジアムは、四つのスタンド全てが、1層目と2層目の間にビジネスラウンジを備えた事業性の高い構造。最寄り駅から徒歩6分、その他三つの駅からも13分の徒歩圏、スタジアムの裏手には高速道路が走り、あらゆる手段でアクセス可能な好立地にある。前に市営グラウンド、裏手にシネマコンプレックスがあり、スタジアムがこのエリア全体の再開発の核になっていた。

それまで屋根のない陸上競技場をホームとして使用していたが、09年に約4万人のサッカースタジアムを9千万ユーロ(121億5千万円)で建設して移転。「声援が屋根に響き渡り、それまでの環境と比べれば、夜が明け、太陽が降り注ぐ昼に変わった気分だ」(クラブ幹部)。

## 365日稼働型のスタジアム

多機能複合型のスタジアムが多いスイスでは、バーゼル、ベルン、ルツェルンの3都市にある街中スタジアムで、試合のない日も人々が足を運ぶ環境や、エコ対策を視察した。バーゼル

## ■参加者

(団長) 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ フットボール統括本部長	窪田 慎二
独立行政法人 日本スポーツ振興センター スポーツ振興事業部 助成課	鈴木 友喜
鹿島アントラーズ※ 事業部 スタジアム事業グループ長	箕輪 公成
大宮アルディージャ 事業本部ファンサービスグループ リーダー	小島 陽介
大宮アルディージャ後援会 理事長	染谷 伊久夫
清水エスパルス 営業企画部部長 運営チームリーダー	森谷 理
ファジアーノ岡山 常務取締役	小川 雅洋
サンフレッチェ広島 企画広報部長	森脇 豊一郎
広島県サッカー協会 常務理事	先本 賢司
株式会社 Jリーグメディアプロモーション コンテンツ企画部	高橋 現
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ 競技・運営部マネージャー	佐藤 仁司
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ 総務部アシスタントチーフ	伊藤 緑

※鹿島アントラーズは県立カシマサッカースタジアムの指定管理者

【お知らせ】 Jリーグ公式ホームページにて5月上旬より「Jリーグ欧州スタジアム視察2014」について動画によるリポートを掲載予定。



外壁が開閉式のため、天然芝の育成のための通風が確保されている(バーゼル/スイス)



スタジアムの目の前がトラムの駅となっており、併設のショッピングセンター利用にも便利だ(ベルン/スイス)



100mの長さのビジネスラウンジ。地元企業がピッチをイベント利用し、これから会食が始まる(ルツェルン/スイス)

には高齢者用住居107戸、ベルンには太陽光エネルギーの学習センターやオフィスが併設され、どちらも内部にショッピングセンターがある。バーゼルはことしからクラブがスタジアムの利用管理を任されており、ショッピングセンターのテナント料もクラブの収入源となった。

ルツェルンは、スタジアム敷地内にプールやフィットネスジム、マンション2棟、スーパーマーケットがある。いずれのスタジアムも広く多彩なラウンジをいくつも備え、試合日以外も会議やパーティー、イベントなどでフル稼働している。

スイスでも、サッカーくじからの助成制度があり、ベルンのような民間施設でも助成を受けて



## ■参加者コメント

### 大宮アルディージャ 小島陽介氏

非常に刺激的だった。クラブと街が一体となって取り組んだ努力と情熱の結果がスタジアムという成果に表れていた。マインツ幹部が「スタジアムはエモーションナルブアーであってはいらない」と言うように、「劇場」として機能しているスタジアムは、いるだけで時がたつのを忘れた。まずは、地域に根差した小さな活動を丁寧に行い、「Jリーグ百年構想」のもと、地道な努力を積み重ねていくことが必要と感じた。

### サンフレッチェ広島 森脇豊一郎氏

国際平和都市の広島だからこそスポーツを通じた平和へのメッセージが発信できる。そのために、街の集客装置として国内外から365日人々が集い、ホームタウンの誰もが「わが家」と誇りに思えるスタジアムが必要だと強く感じた。そのためにはアクセスの良さは最も重要となる。市内の中心市街地に複合型スタジアムを建設する構想がある中、まずは場所の決定と、コンセプトの熟考を急ぎたい。

### ファジアーノ岡山 小川雅洋氏

訪問国4カ国のうちスペイン、イングランド、ドイツのクラブは、放映権収入の比率が高く、世界に向けては有名になれるが、地元のサポーターには金曜や月曜の試合を受け入れざるを得なく不便であり、入場者数も伸び悩んでいる。一方、スイスの3クラブでは、地方が持つスタジアム建設の方向性について参考になった。スタジアム収入は、年間を通じたサッカー以外の興行収入比率が高い。今後のスタジアム新設は、中心市街地に建設し、高齢者住宅、ショッピングモール、オフィス、学校、コンベンション対応機能などを備え、サッカーを行う箱ではなく、複合施設として人々が集い、にぎわい、周辺の活性化に寄与すること。このように思いで計画を進めていく必要があると感じた。

## ■行程と視察先(国別)

水色部分は視察のみ・ヒアリングなし

	国	都市	訪問先	ホームクラブ	所属リーグ	収容人数	完成
2/8(土)	スペイン	コルネリャ・デ・リョブレガード	スタジアム練習場	エスタディ・コルネリャ・エル・プラット RCDエスパニョール	RCDエスパニョール	スペイン1部リーグ Liga BBVA	40,500 2009/8/2
2/9(日)		バルセロナ	スタジアム	カン・ノウ	FCバルセロナ	スペイン1部リーグ Liga BBVA	— —
2/10(月)	スイス	バーゼル	スタジアム	ザンクト・ヤコブ・パルク	FCバーゼル	ライファイゼン・スーパーリーグ	38,512 2001/3/15
2/11(火)		ベルン	スタジアム	スタッド・ド・スイス、ヴァンツォルダ、ベルン	BSCヤングボーイズ	ライファイゼン・スーパーリーグ	32,000 2005/7/30
2/12(水)		ルツェルン	スタジアム	スイスホルンアレナ	FCルツェルン	ライファイゼン・スーパーリーグ	17,000 2011/7/31
		ダービー	スタジアム	アイブ・スタジアム	ダービー・カウンティFC	イングランド・フットボールリーグ・チャンピオンシップ	33,010 1997/7/18
2/13(木)	イングランド	ストーク・オン・トレント	スタジアム	ブリタニア・スタジアム	ストーク・シティFC	イングランド・プレミアリーグ	27,740 1997/8/30
		バーミンガム	スタジアム	ヴィラパーク	アストン・ヴィラFC	イングランド・プレミアリーグ	42,682 1897年
2/14(金)	ドイツ	マインツ	スタジアム	コファス・アレナ	1.FSVマインツ05	ドイツ・ブンデスリーガ	34,000 2011/7/3
		ジンズハイム	スタジアム	ライン・ネッカー・アレナ	TSG 1899 ホッフェンハイム	ドイツ・ブンデスリーガ	30,150 2009/1/24
2/15(土)			試合観戦	ホッフェンハイム 対 シュツットガルト			



椅子、ソファ、カウンターとバリエーション豊かなビジネスラウンジ(マインツ/ドイツ)



売店の支払いは専用カード。コンコースにはカード販売、チャージ対応スタッフを配置(ホッフェンハイム/ドイツ)

いた。スタジアム建設が地域の活性化に寄与することでクラブの公共性の裏付けとなり、助成の対象として認められているのだ。

## クラブの伝統を受け継ぐ ミュージアム・スタジアム

イングランドでは、伝統あるフットボールスタジアム独特の雰囲気、臨場感を体感。クラブの歴史を大切に残した自前のスタジアムを視察し、試合のない日も活用してビジネスに結び付けている様子をヒアリングした。ストークとダービーは、1997年にリーグの基準を満たすためにスタジアムを新設。ダービーは駅の東1キロメートルの場所に移転し、スタジアムはスターバックスコーヒーとサンドイッチのチェーン店を併設。駅に近く国道沿いという立地から、平日も多くの人が利用し、街で最も人気の高い待ち合わせスポットとなっていた。ラウンジの貸し出しや、国道側の壁面の広告販売もクラブの収入源になり、新スタジアムを活用したファンサービスによる若年層ファンの開拓も行なうなど、スタジアムが顧客拡大の一翼を担っていた。ダービーもまた、行政のエリア再開発プランにクラブが加わり、建設にあたっては市から助成を受けていた。

ストークは建設にあたり、命名権料や、フットボールトラスト(政府、サッカーくじおよびフットボールリーグ共同の基金)からの助成金が活用されていた。いずれのスタジアムも新設により、安全で快適になっただけでなく、スタジアムそのものがクラブの歴史をちりばめたミュージアムのよ

うに生まれ変わった。ストークはさほどアクセスが改善されなかったため、スタジアム移転による平均入場者数は前年比118.3%にとどまったが、ダービーは162.7%に跳ね上がった。

## シティーセールスを担う 小さな町の看板スタジアム

ツアーの最後に、世界で最も成功しているといわれているドイツのブンデスリーガを、3万人規模のスタジアムで観戦。マインツではスタジアム・ホスピタリティを、ホッフェンハイムでは一般席の快適性を体験した。どちらもフランクフルトに近い小都市である。

マインツは市営のスタジアム。ホームクラブのエンブレムをスタンドや外壁など至る所に掲出し、「何かが起こる期待感、チームイメージと合致したデザイン、モダンスタジアム」というコンセプトを実現。常に3万人(市の人口の約7分の1)を超える入場者を集め、所属する岡崎慎司選手が「サポーターとの一体感を感じる」と評するスタジアムは、チームに力を与え、1部昇格、定着に多大な貢献をしているといえる。クラブは市に施設使用料を支払うが、ネーミングライツはクラブの収入となっている。

ホッフェンハイムのスタジアムは、人口約3万4千人のホームタウン(ジンズハイム市)において3万人の収容能力を持ち、平均入場者数は2万3千人を超える。スタジアムはクラブのパトロンが建設したものだが、会員数約5700人の総合スポーツクラブという基盤のもと、地道

な普及活動を行い、周辺76都市の市章をスタンドに掲げて近隣市町村からも応援してもらえる仕組みをつくった結果、ファンを増やし、新スタジアムにふさわしいトップクラブに成長。スタジアムは、2011年のFIFA女子ワールドカップの会場にも選ばれた。

いずれも、世界屈指のリーグへの定着、国際大会の誘致成功など、スタジアムの新設をきっかけに、大都市に隠れがちな小都市が世界規模のシティーセールスに成功した例といえる。

## スタジアムは都市計画の重要なアイテム

歩みを止めない「スタジアム先進国」に、「ただの競技施設」はなかった。新設されたのはいずれも「都市計画の重要なアイテムとなるスタジアム」だった。

良いスタジアムをホームとするクラブは、いずれも行政と良好な関係にあり、スポーツの枠にとどまらない「公共的な存在として地域に認められ、スタジアムと共に地域にさらに定着。地域経済にも大きく貢献している姿を視察することができた。

Jリーグは20年が経過し、競技レベルは大きく飛躍した。クラブは地域の重要無形文化財になり得る、と価値も認められてきた。

一方、地域は人口減少、高齢化、中心市街地空洞化といった未来を不安視し、「地域活性化の核」を模索している。スタジアムは、今日の明日にできるものではない。互いの課題に向き合い、「街の笑顔となるスタジアム」に向かっていかなければならない。(Jリーグ 佐藤 仁司)



テナントのスターバックスコーヒーは平日もにぎわい、街で最も人気の高い待ち合わせスポットになっている(ダービー/イングランド)



緊急時にはピッチに避難できることが法律によって定められている(ストーク・オン・トレント/イングランド)



ラウンジの一つは週末にレストランとなり、地元のグルメランキングで3年連続1位に選ばれた(アストン・ヴィラ/イングランド)



# 選手にとっても魅力的なリーグを

Jリーグに今シーズンから設けられた特任理事に、元Jリーグ選手の宮本恒靖氏が選任された。新たなフィールドに一步を踏み出した宮本氏のインタビューを、今号と次号の2回にわたってお届けする。

## PROFILE

宮本 恒靖(みやもと つねやす) 1977年2月7日生まれ。大阪府出身。1995~2011年にガンバ大阪、ヴィッセル神戸で主にDFとして活躍(07~08年はオーストリアのザルツブルク所属)。J1リーグ戦337試合出場(8得点)。日本代表としては71試合に出場(3得点)し、02、06年のFIFAワールドカップではキャプテンを務めた。

特任理事… 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ定款第21条の2〔特任理事〕によれば、理事会に出席し、意見を述べ、質疑に答えることができる一方、議決権は有しない。

## 基本的に選手目線で

——特任理事就任の打診を受けた時は、どのように考えましたか。

宮本 選手としての経験や視点をJリーグに還元してほしいと言われました。それは自分にもできると考え、Jリーグの運営という部分にも少し関わることができるので、やりがいがあるなと思いました。

——村井 満チェアマンとは話しましたか。

宮本 チェアマンは、ご自身が選手経験、競技面ではプロではないので、ぜひそういうところをサポートしてもらいたいとのことでした。基本的に選手目線で、ということだと思います。

——実際に意見を述べる機会はありましたか。

宮本 ハーフタイム15分確保の導入を決める際には、選手として感じていたことを話しました。また、先日の差別的な内容の横断幕掲出に対する処分の時には「クラブ全体で反人種差別の立場を社会に対して発信していくべき」「Jリーグ、選手たちが、差別的行為に対して反対しているという点を明確に伝えるには、双方が協力、提携するのが良いのでは」といった内容のことも述べました。

——「月間ベストゴール」「コカ・コーラ Jリーグ 月間MVP」の選考委員も務めることになりました。こうした企画はいかがですか。

宮本 選手のモチベーションにもつながるし、入場者や一般の人々に対してもいいアピールの場になると思います。「こんなにすごいゴールがJリーグでは生まれているんだ」と。僕もオーバーヘッドキックでゴールを決めた時には、数多くの人に声を掛けられました。驚くようなゴール、きれいなゴールは一般の人に対してもインパクトがあります。

——ファン・サポーターはどのような楽しみ方があるでしょう。

宮本 純粋にたくさんの試合を見てほしいですね。その中で誰のプレーが素晴らしかったのか、どのゴールが味わい深かったのか。そのあたりを比較するのも、サッカーの楽しみの一つではないでしょうか。

——選考に際しても選手としての経験を生かすことが期待されています。

宮本 選手のスーパーな部分だけを切り取るのではなく、チーム戦術の中で機能しているのかということまで見ていこうとすると、選考はすごく難しい。人によってさまざまな見方があるし、特にMVPは難しいですね。ゴールが技術的に難しいとか、インパクトがあるかということは見えています。一方で、この場面はDFが良くないとか、逆の見方をしてしまう時もある。そこまで語り出すと長くなってしまいますが(笑)。

## いかに優秀な選出を輩出するか

——Jリーグは開幕から20年以上がたちました。その間の変遷で感じたことは。

宮本 開幕から間もなくは日本サッカーリーグ時代の雰囲気も残っていたように思いますが、Jリーグを取り巻く環境、関係者の意識やマインド、選手のレベルアップはもちろん、お客さんの目も肥えるなど、多くのことが変わりました。選手だけでなく、関係者のプロ意識、マネジメント力は非常に高まったと感じています。

——ビジネス面はいかがでしょう。

宮本 現在は苦労しているようにも見受けられますが、もう一度、収入を増やす仕組みをどのようにつくるかをトライしています。Jリーグには、さまざまなビジネスのバックグラウンドを持って

いる人々が集まっているので、そのノウハウ、人脈によって変わっていきけるのではと期待しています。

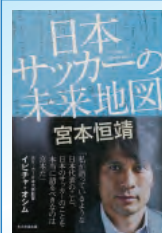
——選手のレベルアップは海外挑戦につながり、Jリーグにスター選手が少なくなっているという見方もされます。

宮本 最近では多くの日本人選手が欧州でプレーしています。それに伴い、空洞化を心配する声がありますが、欧州で活躍できるような選手を輩出するリーグであり続けるのが重要で、いかに優秀な選手を育てていかにフォーカスした方がいいのではないのでしょうか。そのためには、アカデミーも含め、指導者のレベル、質の向上も大切で、もちろんアカデミー以外で成長する選手も大事です。

——一方では、ベテランの域に入って海外から戻ってくる選手もいます。

宮本 彼らが経験したこと、見てきたものを、いかにJリーグの発展、パブリシティにつなげていくかも、すごく大事です。現在、欧州で活躍している選手も、いずれは日本に戻ることもあるでしょう。その際の判断基準として、金銭的な部分も含めてJリーグでプレーしたいと思えるような魅力が必要です。ファン・サポーターと同じく、選手にとっても魅力的なリーグをつくり続けていかなければならないと思います。

(次号に続く)



【出版のお知らせ】  
「日本サッカーの未来地図」  
著者：宮本恒靖  
発行：角川学芸出版BC  
定価：1300円＋税

